

5月28日(日)2006Kikuchiホタルフェスタin旭志

ホタルフェスタ in 旭志が小原グラウンドであり、県内外からたくさんの家族連れや観光客などで賑わいました。

開会式では、主催者を代表して実行委員会々長でもある福村市長が「地域の皆さんの取り組みと協力で、これからもこの環境を守っていききたいと思います。今日は、心身ともに癒してください」とあいさつ。

特設ステージでは、旭志小学校児童たちの合唱・演奏やメリーホッパーズのバトン演技、エンゼルストレッチの踊り、イロソジョビ合唱団の合唱、ほたる娘(中学生)の踊り、七城天守太鼓が次々と披露され、会場からは大きな笑いや拍手が起きていました。



旭志小学校3年生児童たちの合唱・演奏

熊本陸上自衛隊第8音楽隊が、テレビアニメのメドレーなど十数曲を演奏すると、すばらしい音色と歌声に会場からは大きな拍手が送られました。

会場には、商工会や旭志青年団、菊池市母子会などの焼きそばや金魚すくい、かき氷、ホタルカレーなどたくさんの夜店も並びました。

また、会場横の二鹿来川や近くの渡瀬川では例年がないゲンジボタルの大乱舞を、湯舟地区ではヒメボタルを見ることができ、訪れた人たちは幻想的な景色も一緒に楽しみました。

このまつりは、ホタルが乱舞するこの時期に合わせて、毎年開催されています。



陸上自衛隊第8音楽隊の演奏

5月20日(土)第1回土曜体験教室

土曜体験教室「おもしろいスポーツを楽しもう!!」が、菊池体育センターでありました。

市内の小学生約30人が参加し、カローリングやドッジビー、花架拳(中国体操)の3種目を体験しました。

カローリングとドッジビーは、これまでに経験している子どもも多く、チームで作戦を立ててみんなて指示を出し合いながら活動していました。

花架拳は、子どもたち全員が初めての体験で、慣れないゆっくりとした動きに戸惑いながらも、先生の動きを見ながら音楽に合わせて一生懸命手足を動かしていました。

3種目を体験した子どもたちは「ドッジビーで当てることができて良かった」や「花架拳は難しかったけど楽しかった」などと話してくれました。

今回の教室では、これまでにカローリングやドッジビーなどを体験したことのある子どもたちが、初心者に教えながら、みんなで仲良くスポーツを楽しみました。



カローリングに挑戦する子どもたち

6月1日(木)佐々木義辰さんが地方自治功労で「旭日単光章」を受章

元の菊池市議会議員の佐々木義辰さん(80古川)が、地方自治功労として「旭日単光章」を受章されました。

菊池市役所であった伝達式で、熊本県秘書課の市原課長補佐から勲記と勲章が手渡され、佐々木さんは「これまでの活動が評価されて、とてもありがたく思います」と話されました。

佐々木さんは、昭和32年4月に当時の菊池町議会議員に当選し、以来12年の永きにわたって市政の発展と住民福祉の向上に努力したこと、また、菊池森林組合長として地場産業の育成および地域発展に大きく寄与したことなどが評価され、今回の受章となりました。

「旭日単光章」は、地方自治に多大な貢献があり、満88歳を迎える人におくられるものです。



「旭日単光章」を受章した佐々木義辰さん

4月23日(日)志布志市お釈迦祭り奉納柔道大会

お釈迦祭り奉納柔道大会が、鹿児島県志布志市の志布志運動公園武道館でありました。鹿児島や宮崎、熊本から約30団体の小・中学生が参加して熱戦が繰り広げられ、泗水町の新輝塾柔道場の子どもたちが、低学年の部(21チーム)で準優勝しました。

3年生の枠に2年生、4年生の枠に3年の女子が出るなど不利なメンバーの中、強豪相手に前へ前へと向かってバタバタと倒していく姿は、指導者や保護者に感動を与えていました。

試合結果は、次のとおりです。(敬称略)

団体低学年の部

- 準優勝 新輝塾柔道場
- 先鋒 木柑子隆介(永)
- 次鋒 後藤 龍真(西合志)
- 中堅 岩永 実奈(竹の下)
- 副将 中村 将也(西合志)
- 大将 上田 竜聖(熊本市)



写真左から、木柑子くん、中村くん、上田くん、後藤くん、岩永さん

泗水町の新輝塾は、まだ1年になりませんが、幼稚園児から中学生まで約30人と県下最多の8人の指導者で、熱く・楽しく・厳しく練習を頑張っています。月曜日から金曜日の午後6時30分から、泗水中体育館の2Fで練習しています。興味がある人の見学をお待ちしています。

5月13日(土)塗装業協同組合員が菊池市役所庁舎内の壁を塗装奉仕

熊本県城北地区塗装業協同組合(井上元生理事長)の古田喜範専務理事と同組合青年部(笹井義親部長)が、菊池市役所庁舎通路の壁や市長応接室などの塗装奉仕作業を行いました。

同組合は、かねてより地域内の公共施設の奉仕作業を続けており、菊池市役所は今回が2回目。自分たちの仕事の都合をつけて参加した青年部の7人が作業を行いました。

「どこの自治体も予算が限られていて、壁の塗装や補修でも小さなところに目が届きにくくなっています。私たちのボランティア作業でそれが少しでも改善され、市民の皆さんのためになるのであれば、これからも続けたい」と語る古田専務理事。

当日は土曜閉庁日でしたが、翌14日(日)の市議選告示の準備のために出勤した職員も多数いて、組合員たちのプロの技を活かした手際のよい作業を目にして感嘆の声を上げていました。



塗装前の準備作業をていねいに行う組合員たち

5月16日(火)七城小学校少年消防クラブが「優良クラブ」として消防庁長官表彰

七城小学校少年消防クラブが「優良クラブ」として消防庁長官表彰を受け、菊池市役所で伝達式がありました。

式には、同クラブ長の田代大祐くん(6年)、副クラブ長の小池裕也くん(6年)、旗手の宮崎樹弥くん(6年)の代表3人が出席し、菊池広域連合消防本部連合長でもある福村市長から、賞状が手渡されました。

3人は「これからもクラブ活動を協力して頑張りたいです」と話してくれました。

同クラブは、平成12年に結成され、同校の5・6年生児童全員で構成されており、市の消防出初式で通常点検を披露するなど、地域住民への火災予防のPRに努めていることなどが評価されました。

この表彰は、毎年全国少年消防クラブ運営指導協議会が行っているもので、全国の29のクラブが優良と認められ、県内からの受賞は同クラブのみでした。同クラブの今後の活躍が、期待されます。



伝達式に参加した3人。右から田代くん、小池くん、宮崎くん